

北東アジア動向分析

中国

物価は安定的に推移、貿易黒字は大幅に拡大～1 9月期の経済成長率は9.4%～

2005年1 9月期の経済成長率は前年同期比で9.4%となり、通年の目標値である8%前後を上回るペースで成長を続けている。今年の成長率は中国社会科学院が9.4%、中国人民銀行が9.2%と予測しており、マクロ調整策が奏効し、インフレもデフレもない安定した成長であると見られている。長期的には国務院発展研究センターが2010年までの5年間の成長を8.1%と予測している。

10月に中国で開かれた主要20カ国財務相・中央銀行総裁会議（G20）において胡錦濤国家主席は今後15年間でGDPを4兆ドル、一人当たりで3,000ドルにするとの目標を改めて表し、中国の経済発展に自信を見せた。

1 9月期でみると鉱工業生産伸び率は対前年同期比で16.3%、うち重工業の伸びは16.9%、軽工業は14.9%。固定資産投資伸び率では26.1%で、そのうち都市部での投資伸び率は27.7%となっている。伸びが顕著な業種は、石炭採掘等（前年同期比76.8%増）、鉄道輸送業（41.4%増）石油・天然ガス採掘（同31.3%増）などエネルギーや物流に対する投資において高い増加を示している。

社会消費品小売総額伸び率は1 9月期において対前年同期比で13.0%増だった。伸びの高い商品としては、石油及び関連製品、アパレル、自動車、オフィス関連用品、レジャー用品などがある。成長予測としては商務部が通年で12.7%とみている。

消費価格上昇率に関しては、野菜で一時期15%を越す上昇があったが、7月、8月、9月は累計ベースでそれぞれ2.2%、2.1%、2.0%と1 6月期に比べても継続して下降している。物価における都市部と農村部の格差についても6月には0.9ポイントだったものが、8月には0.3ポイントまで縮小している。通年の予測として中国社会科学院が1.9%とみている。

税関統計による輸出入総額では1 6月期で6,450億ドル（前年同期比23.2%増）、輸出3,423億ドル（同32.7%増）、輸入3,027億ドル（同14.0%増）で収支は396億ドルの黒字だった。1 9月期では前年よりも2ヵ月前倒して1兆ドルを超え1兆245億ドル（同23.7%増）となり、輸出は5,464億ドル（同31.3%増）、輸入は4,781億ドル（同16.0%増）

で貿易黒字は累計683億ドルにも増える結果となった。

日本との貿易額については1 9月期が1,646億ドル（同10.5%増）でEU、米国に続き3位の貿易相手先となっている。

1 6月期の対中直接投資は契約ベースで862億ドル（同19.0%増）実行ベースでは286億ドル（同3.2%減）だった。この時期においては対中直接投資の伸びは大幅に減少しており、原因として外資参入分野における進出がピークアウトに達したことなどが指摘された。

1 9月期では、契約ベースで1,303億ドル（同21.8%増）、実行ベースでは9月の伸び率が2.36%増とプラスに戻るなど減少に歯止めがかかり、432億ドル（同2.1%増）となった。地域別には香港、英領バージン諸島、日本、韓国、米国と続いている。

外貨準備高は3月末が6,591億ドル、6月末が7,110億ドル、9月末では7,690億ドルにまで達しており、巨額の貿易黒字に対応して今後さらに外貨準備高が増大することで、年末には日本（9月末時点で8,436億ドル）を抜き世界最大の外貨保有国になる可能性も指摘されている。

神舟計画の成功で進む宇宙ビジネス

中国は2003年の神舟5号に続き、今年10月には2度目の有人宇宙飛行となる神舟6号の打ち上げに成功した。中国の宇宙開発の歴史は1950年代から始まり、70年には長征1号ロケットにより東方紅衛星の打ち上げに成功している。

国慶節直後の成功は、貧富の格差や官僚の腐敗など多くの問題を抱える中国の現政権にとって共産党の指導力を国民に認識させる絶好の機会となった。また、経済面においても世界に技術水準の高さを注目させ、商業衛星打ち上げなどの宇宙ビジネスで一層信頼性をアピールするだろう。尚、中国は2020年頃までにサンプルリターンを目標とした月探査計画（嫦娥計画）の実現を目指している。

宇宙開発に係る最大の企業は中国国家航天公司（CASC）で、神舟を打ち上げた長征ロケットの開発、人工衛星の製造、宇宙ビジネスの営業などを扱う多くの企業を傘下に有している。

中国の商業ロケットは96年から40回以上打上げに成功しており、コストパフォーマンスも高い。これらの魅力を武器に今後はさらに宇宙ビジネス市場を開拓していくことであろう。（ERINA調査研究部研究主任 筑波昌之）

		1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年		
									1 3月	1 6月	1 9月
GDP成長率	%	7.8	7.1	8.0	7.3	8.0	9.1	9.5	9.4	9.5	9.4
鉱工業生産伸び率	%	10.8	8.9	9.9	8.9	10.2	12.6	16.7	16.2	16.4	16.3
固定資産投資伸び率	%	13.9	6.3	9.3	12.1	16.1	26.7	25.8	25.3	27.1	26.1
社会消費品小売総額伸び率	%	6.8	6.8	9.7	10.1	8.8	9.1	13.3	13.7	13.2	13.0
消費価格上昇率	%	0.8	1.4	0.4	0.7	0.8	1.2	3.9	2.8	2.3	2.0
輸出入収支	億ドル	436	291	241	226	304	255	320	166	370	683
輸出伸び率	%	0.6	6.1	27.8	6.8	22.3	34.6	35.4	34.9	32.7	31.3
輸入伸び率	%	1.5	18.2	35.8	8.2	21.2	39.9	36.0	12.2	14.0	16.0
直接投資額伸び率（契約ベース）	%	30.4	18.9	50.8	10.4	19.6	39.0	33.4	4.5	19.0	21.8
（実行ベース）	%	0.5	9.7	0.9	14.9	12.5	1.4	13.3	9.5	3.2	2.1
外貨準備高	億ドル	1,450	1,547	1,656	2,122	2,864	4,033	6,099	6,591	7,110	7,690

（注）前年同期比

外貨準備高は各月末の数値。

（出所）中国国家统计局、中国商務部、海関統計、中国外匯管理局資料、各種報道等より作成